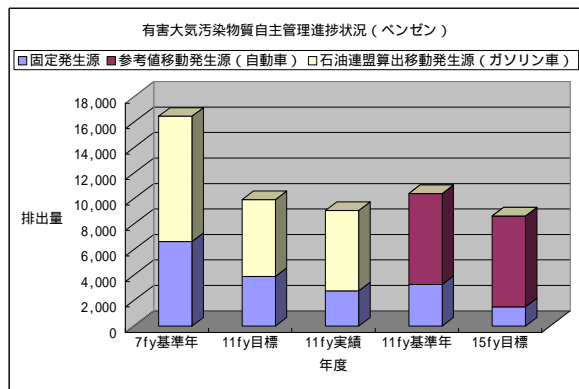
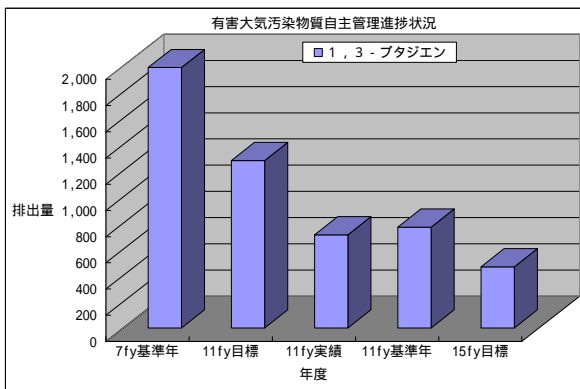
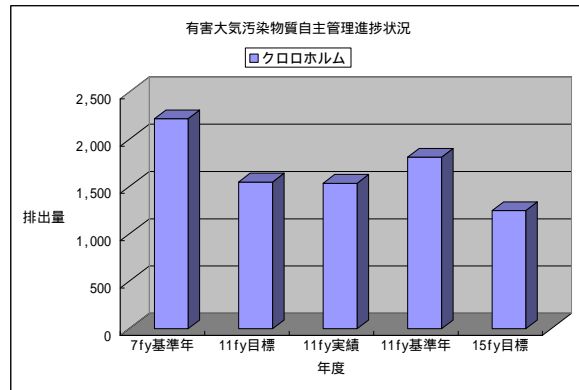
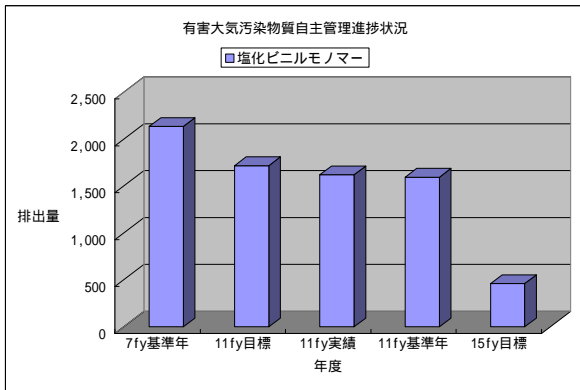
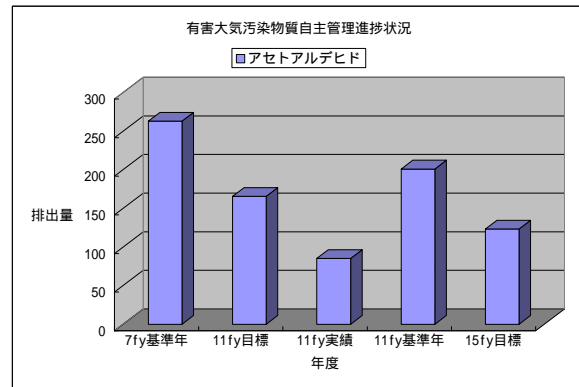
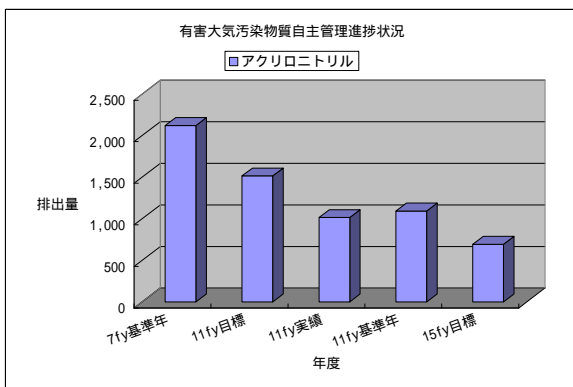
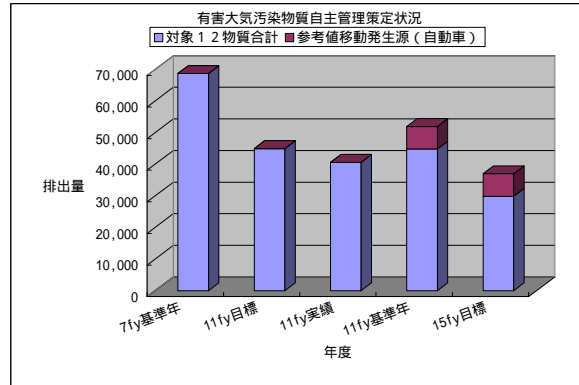
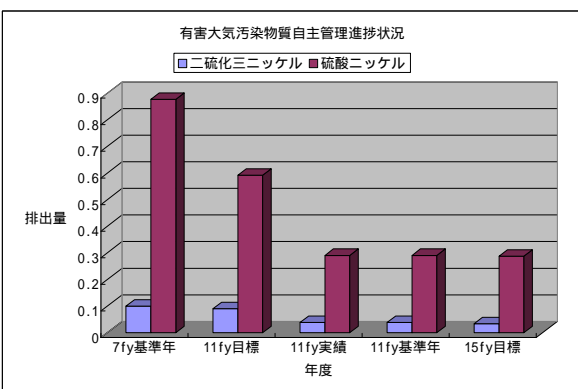
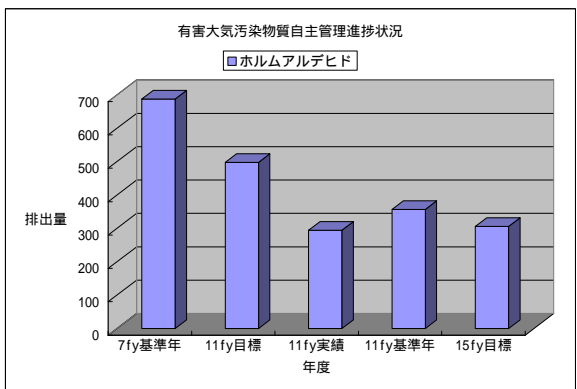
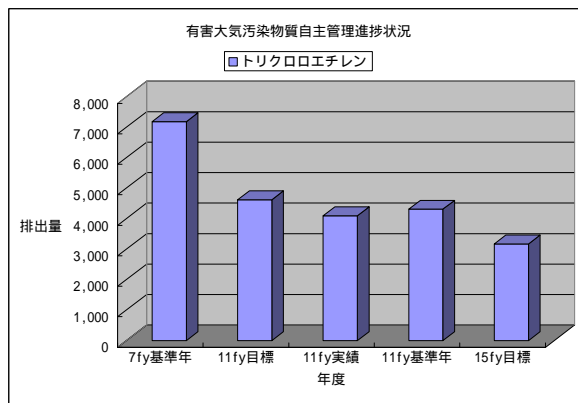
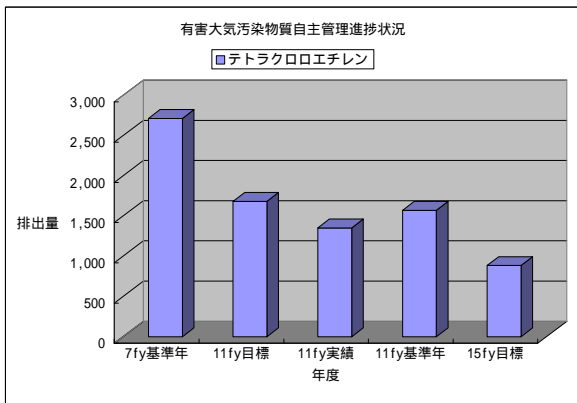
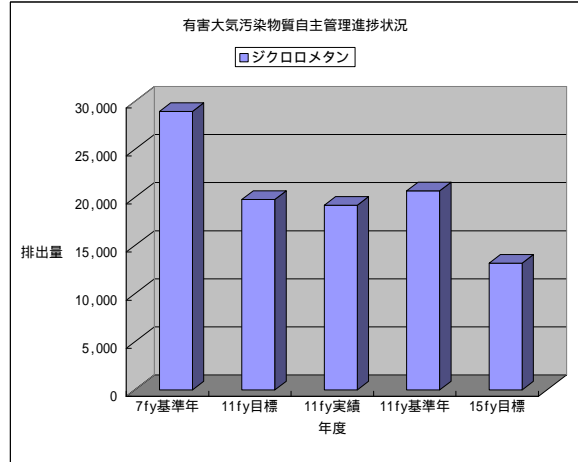
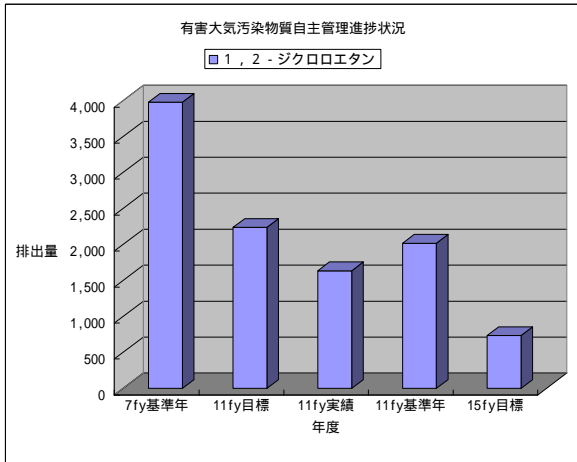


有害大気汚染物質対策自主管理計画策定状況

対象物質	平成9年度～平成11年度			平成13年度～平成15年度					
	7fy基準年 t/年	11fy目標 t/年	増減率 %	11fy実績 t/年	増減率 %	11fy基準年 5fy目標 t/年	増減率 %		
アクリロニトリル	2,124	1,516	29	1,015	52	1,094	693	37	
アセトアルデヒド	263	166	37	85	68	201	123	39	
塩化ビニルモノマー	2,135	1,717	20	1,620	24	1,595	461	71	
クロロホルム	2,219	1,551	30	1,538	31	1,814	1,248	31	
1,3-ブタジエン	1,987	1,278	36	711	64	769	466	39	
ベンゼン	16,466	9,916	40	9,055	45	3,262	1,496	54	
(参考値) 移動発生源(自動車)からの排出量							7,129	7,129	0
1,2-ジクロロエタン	3,977	2,238	44	1,635	59	2,017	735	64	
ジクロロメタン	28,951	19,798	32	19,221	34	20,709	13,185	36	
トリクロロエタン	2,714	1,684	38	1,353	50	1,572	886	44	
トリクロロエチレン	7,178	4,619	36	4,094	43	4,310	3,170	26	
臭化メチル	688	498	28	295	57	357	306	14	
二硫化三炭素	0.100	0.090	10	0.038	62	0.038	0.034	11	
硫酸ニッケル	0.878	0.592	33	0.291	67	0.291	0.287	1	
総計	68,704	44,982	35	40,621	41	37,701	22,771	40	
総計(含む参考値)						44,830	29,900	33	





注)平成11年度実績と平成11年度基準年の排出量の相違は、

新たに参画した事業者等による排出量の増加、

個別自主管理計画の対象物質の追加による増加、

対象設備の範囲拡大に伴う排出源の増加(アトアルヒドの副生成等)、

コークス炉からのベンゼン排出実態の管理をドア漏れ指数管理から当該指数の数値化により、  
排出量管理としたことによる増加

等による。

また、ベンゼンの移動発生源からの排出量の取扱いについては、第1期計画では、ガソリン中のベンゼン濃度の低減対策を含んでいたため、移動発生源(ガソリン車)からの排出量が含まれていた。

第2期計画では、移動発生源(自動車)からの排出量は含まれていない。しかしながら、移動発生源からのベンゼンの排出量は多く、排出量全体を把握するため、第2期では、参考値として、今後の有害大気汚染物質対策のあり方について(第六次答申)(平成12年12月環境庁大気保全局)におけるベンゼンの大気中への排出インベントリーを採用し、移動発生源(自動車)からの平成11年度値を平成15年度横這いとして掲載している。